

A ちゃんは「あっちの砂場に行ってみよう」という友達の声聞き、友達や保育者と一緒に大きい砂場へ行きました。5 歳児の B ちゃんがやって来て、ボウルに入ったサラ砂を見せて、「触ってもいいよ」と声をかけてくれました。初めは戸惑っていた A ちゃんでしたが、「触っていいの?……わあ、ふわふわだ」と、砂の感触に触れると、ぱっと表情を明るくしました。B ちゃんは「これはさら砂。こうやってつくるんだよ」とフルイを持って来て、A ちゃん達は B ちゃんがフルイを使っている様子を見たり、ふるった砂を触ったりして遊びました。

B ちゃんが「いいことが向こうにあるよ」とボウルを持って水道の所に向かうと、A ちゃん達も同じ方へ進みます。B ちゃんは「水を入れて混ぜたらチョコになるんだよ」とスプーンで砂と水を混ぜて見せてくれました。「わあチョコになった」と嬉しそうに見ている子ども達でした。

わあ、ふわふわだ

びっくり

子どもの育ちや学び

さわってみたいな



A ちゃんの表情が変わった(驚き)



B ちゃんの話の聞いたりしていることをじっと見る
(興味・ワクワク)

こうやると、チョコレート
みたいになるんだよ



ワクワク

B ちゃんの行く方に一緒に行く
(安心・興味・ワクワク)

保育者の思い

- ・5 歳児の B ちゃんが優しく話しかけてくれた言葉に誘われて、さわったり、一緒に行ってみようとした様子や、とても微笑ましく温かな雰囲気の一場面でした。保育者は、子ども達同士のやり取りの雰囲気を大切にしたいと思い、うなずいたり見守ったりするようにしました。
- ・A ちゃん達は、B ちゃんの姿を見て安心して遊んだり一緒にいたりすることができました。その中で、遊び方を知るきっかけになったかもしれないと思いました。

家庭だったら・・・

子どもの行動を見ていると、つい先回りして声をかけたり、遊び方や方法を伝えたりしてしまいそうになります。まずは子どもが自ら見たり触れたりする姿を見守り、「ふわふわだね」「どうなるのかな」のように、感じたことや気づきに共感する言葉を添えてみてください。子どもならではの豊かな発想に気付くことができ流かかもしれません。